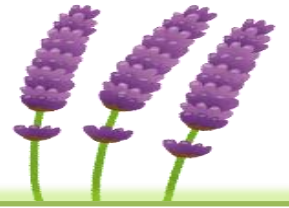




看護部通信

2022年7月



今年は暑い夏になりそうですね。皆さんは、暑い季節のお風呂どうしていますか？
湯船に浸かった時につい出る『ハァー』という息、副交感神経を刺激してリラックス効果を高めてくれるそうです。シャワーで済ませがちな季節ですが、夏こそお風呂でほっとひと息、ゆったり過ごして、気持ちも心もすっきりしましょう。（看護師長会）

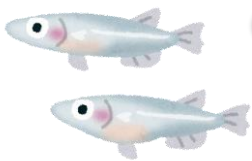
「今年の私」

7病棟 T・H

今年の3月から7病棟にお世話になっております。物覚えの悪い私はまだまだ慣れることができず皆さんにご迷惑をかけています。いち早く病棟の力になれるよう努力していきたいと思っています。

まもなく夏です。私は数年前に、子供たちの自由研究にでもなればと思い、メダカの飼育を始めたのですが、子供はまったく興味を示さず・・・昨年、約200～300匹の産卵・成長・そして餌にもなりました。今年はどれくらい増えるのか楽しみです。メダカに興味を示してくれなかった娘は5年生、息子は3年生。スポ少なども積極的に頑張ってくれています。子供は学校や友達から色々な知識を蓄えて帰ってくるため、親が話しについていけないことが度々あります。

子供の成長や自分自身の成長、メダカの成長、今年は昨年よりも成長できるよう残りの半年を過ごしていきたいです。



子供たちが、メダカに興味を示してくれるようになるといいですね☆

「秋茄子から学んだこと」

7病棟 T・K

4月より7病棟へ異動となり、初めての認知症病棟ということもあって学ぶことが多い毎日。その日も必死に看護記録を入力していたのですが、ふと頭を上げると壁にかけられたカレンダーが目にとまりました。月に一つのことわざとその意味が書かれてあり、みってみると「秋茄子は嫁に食わずな」という言葉が載っていて「あれ、これってどっちの意味だっけ」と思い読んでみると「秋茄子はおいしいので嫁に食べさせるなという姑の嫁いびりの言葉。また反対に茄子で体を冷やすといけなから食べさせるなと嫁を大切に思う言葉」とのこと。「どっちやねん！」「いや、どっちもかーい！」と思わず2回ツッコんでしまいましたが、結局言葉なんて受け取り側によって解釈が違えば、意味すら正反対に伝わることもあるのだなと思いました。まさか昔「秋茄子は～」と言った人もまったく正反対の意味が後世に語り継がれているとは夢にも思っていないでしょう。同じ言葉を向けられても、その日の精神状態や状況によっては受け取り方も変わってきます。新しい環境で働いている今、できればいつもポジティブに受け取っていききたいなと思いました。

ポジティブに受け取る☆できそうでできないけど大事ですね。